

# カンマームジークコンツェルト *Kammermusik*konzert

## 大矢 絢子 ウィーンの音楽家たちとともに

大矢 絢子 (ピアノ) *Ayako Ohya, Klavier*

クリストフ・エーレンフェルナー (ヴァイオリン) *Christoph Ehrenfellner, Violine*

ヘルベルト・ミュラー (ヴィオラ) *Herbert Müller, Viola*

### Programm

モーツァルト : ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 変ロ長調 KV454

*Wolfgang Amadeus Mozart : Sonate für Violine und Klavier B-dur KV454*

シューマン : おとぎの絵本 Op.113

*Robert Schumann : Märchenbilder Op.113*

シューベルト : ピアノソナタ第13番 イ長調 D664

*Franz Schubert : Klaviersonate Nr.13 A-dur D664*

ロッラ : ヴァイオリンとヴィオラのための協奏的二重奏曲 ハ短調 Op.4-2

*Alessandro Rolla : Duo Concertant für Violine und Viola c-moll Op.4-2*

シャルヴェンカ : ヴァイオリン ヴィオラ ピアノのための三重奏曲 ホ短調 Op.121

*Ludwig Philipp Scharwenka : Trio für Violine, Viola und Klavier c-moll Op.121*

曲目が変更となる場合があります。予めご了承ください。

2017. **9.27** | 水 |

19:00開演 18:30開場

 **MUSICASA**  
ムジカーザ

東京都渋谷区西原3-33-1 03-5454-0054

全席自由 **3,500円**

### ■お申し込み

e+(イープラス) <http://eplus.jp> (PC 携帯共通) 

全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) [www.piano.or.jp/concert/support](http://www.piano.or.jp/concert/support)

Kammermusikkonzert 事務局 050-5583-6746

小学校1年生からご入場いただけます。

### ■お問い合わせ

Kammermusikkonzert 事務局 050-5583-6746

後援：日境文化協会 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) 桐朋学園音楽部門同窓会

音楽家には、理解力のある優れた聴き手が必要である。そして、聴き手の拍手と励ましの言葉を受けながら音楽家は成長する。だから、音楽家は日夜努力を重ねて、聴き手の思いに応えなければならない。

大矢絢子は名教師の薫陶を受け、形影に沿う如くにしてその真髄を吸収、近年目覚ましい進境を示してきた。更に、その進境を著しく加速したのが、国際的な一流奏者との共演である。演奏を聴かせていただく我々の楽しみもまた倍加した。今年、彼女はどんな素敵な世界を私達に披露してくれるであろうか。

音楽プロデューサー 中野 雄

Profile

大矢 絢子 (ピアノ) Ayako Ohya, *klavier*



横浜市出身。3歳よりピアノを始める。鎌倉市学生音楽コンクール小学校低学年の部第1位。ピティナピアノコンペティションC級全国決勝大会奨励賞受賞。1998年アメリカ・ソルトレイクシティにてジーナ・バックアウワー国際ピアノコンクールエキシビションコンサート出演。かながわ音楽コンクール中学生の部最優秀賞、横浜市長賞受賞。入賞者記念演奏会出演。2000年ドイツ・エトリング国際青少年ピアノコンクールファイナリスト。ウィーン・ベーゼンドルファーザールでのコンサートに出演。2004年「モーツァルト協奏曲の夕べ」にて日本ニュー

フィルハーモニー管弦楽団と協演。日本演奏家コンクール大学生部門奨励賞受賞。第77回横浜新人演奏会出演。NHK-BS「びあのピアノ」プロモーションCMにてピアノ演奏を担当。2012年3月、大船渡市でのローム被災地コンサートにて神奈川フィルハーモニー管弦楽団・東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団共同オーケストラと演奏。10月、元パイエルン放送交響楽団コンサートマスターエルネ・セベスチャン (Vn)、元フランツ・シューベルト弦楽四重奏団ハルトムート・バシヤー (Va)、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団アダルト・スコッチ (Vc) の各氏と共演。2013年 Hakuju Hallにてソロリサイタルを開催。「ムジカノヴァ 2014年3月号」に高評が掲載される。2014、15年クリストフ・エーレンフェルナー (Vn)、ヘルベルト・ミュラー (Va) の各氏と共演。

日本女子大学附属中学校・高等学校卒業。2006年桐朋学園大学卒業。2008年桐朋学園大学研究科修了。桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻修士課程修了(論文題目:「シューベルト ピアノソナタの研究 <ピアノソナタ第21番変ロ長調> (D960) を中心に」)。2008~15年桐朋学園大学嘱託演奏員。

ソロの他、室内楽、器楽や声楽とのアンサンブル、オーケストラのピアノ・チェレスタ奏者、コンクールの公式伴奏等で活動し、多数の演奏会に出演している。ピアノアンサンブルユニット「KARTY」、クラリネットとのデュオ「duo feuilles」、クラリネットトリオ「Trio Foglie」を結成し、定期的に演奏会を開催する。

これまでにピアノを吉富真里、大坪サイ、日比谷友紀子、佐藤俊、船津聡子、深澤亮子、三上桂子、野島稔の各氏に師事。国内外のマスタークラスを多数受講し、故アンリエット・ビュイグ＝ロジェ、フランク・ウィボウ、ヴィクター・ローゼンバウム、故ホル・ボライ、ジャック・ルヴィエ、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、アレクサンダー・イェンナー、マインハルト・ブリント、ステファノ・マストラランジェロ他、各氏のレッスンを受ける。室内楽を中井恒仁、藤井一興、新実徳英、藤原浜雄、岩崎洗、岩崎嶺の各氏に、チェンバロを有田千代子氏に、ソルフェージュを故竹島悠紀子氏に師事。

日本演奏連盟会員、全日本ピアノ指導者協会正会員、日本音楽舞踊会讀青年会員、カローラザ会員。

クリストフ・エーレンフェルナー (ヴァイオリン) Christoph Ehrenfellner, *Violine*



ザルツブルク生まれ。オーストリアの若手音楽家のなかでも極めて多彩な才能を発揮し、ヴァイオリニスト・作曲家・指揮者として幅広く活躍する。最近ではドイツ・ノルトハウゼン歌劇場の招聘アーティストとして、2017年に向けてオペラ・バレエ・交響曲の作曲を手掛けている。メキシコ・シティ・フィルハーモニー管弦楽団、モーツァルト管弦楽団(ザルツブルク) 客演指揮者、シンフォニエッタ・バーデン(ウィーン)の首席指揮者も務めた(2011年~2015年)。ジュネーブで開かれた小澤征爾アカデミー(2013年)、ムルハウス・シンフォニー・オーケストラ(2012年)、ウィーン・

フィルクラリネット奏者のマティアス・ショーンプロデューサーによる音楽祭バルムクラング(2015年)に作曲家として招聘された。マラー室内管弦楽団、カンマーフィルハーモニー・アマデー(アーヘン)、シモンポリバル・ユース・オーケストラ、ウィーン青少年管弦楽団、オーストリア現代音楽アンサンブルでゲスト・コンサートマスターを務める。イギリスBBC、オーストリアORF、日本のNHKやスロヴァキア放送にて代表的なソロ曲・室内楽曲を録音、フンガロトン、プライザー・レコード、バンムジカ、パラディーノ・ミュージックから6枚のCDをリリースしている。室内楽の演奏にも熱心で、ツックマイヤー・アンサンブル・ウィーン・ベルリンを率い国際的な音楽祭にも招かれている。グラーツ音楽大学のオーケストラで後述の指導に当たる。ウィーン楽友協会を本拠地とするスマ・クム・ラウデ国際青少年音楽祭コンクール常任審査員、日英文化協会名譽会員。2015年より、オーストリアで開催されるアレグロ・ヴィーヴォ国際室内楽音楽祭で、若き音楽家たちのオーケストラ・室内楽クラスの指導責任者を務める。

ヘルベルト ミュラー (ヴィオラ) Herbert Müller, *Viola*



1957年ウィーンに生まれる。1981年ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学を首席で卒業。その後ウィーン音楽大学にてジークフリート・フューリンガー教授に師事。1980年よりウィーン交響楽団に所属。1986年首席ソロヴィオラ奏者となり、これまでにラファエル・フリューベック・デ・ブルゴス、レオポルト・ハーガー、ウルフ・シルマー、ペーター・ギュルケ、ファビオ・ルイーダ、フィリップ・ジョルダンをはじめとする指揮者たちと共演。ポーランド(ヴィエニャフスキ・ルブリン・フィルハーモニー管弦楽団)、エジプト、ウクライナ、ポルトガル(ローレンス・フォスター率いるグルベンキ

アン管弦楽団)などを頻りに訪れ、ソロ奏者としても国際的に活躍している。室内楽への取り組みも熱心で、長年に亘りグリンカ・アレクコフ・カルテットや、ウルフ・ヴァリンが首席ヴァイオリンを務めるウィーン・コンセルティエーノ室内楽団とともに、トリオからオクテットまで幅広く演奏。ウィーン・コンセルティエーノ室内楽団とはオーストリア国内外の音楽祭(ブレゲンツ音楽祭、エンガディン音楽祭、ワロニア・フェスティバルなど)にも参加し、ヨーロッパ各国・アメリカへのツアーを行った。近年ではクレス・ミュラー・スコッチ弦楽トリオ、ウィーン・東京カルテットで活躍し、スイスと日本でレコーディングを行った。1992年から1994年まではウィーン音楽大学にて師匠フューリンガー教授の助手を務め、1994年現職ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学教授に就任。

Access

